

令和4年度 地歴・公民科巡検研修会 研修活動報告

実施日時：令和5年1月18日（水） 視察先：島田市内各地

研修目的：

- ①総合科目で求められる「フィールドワークを通じた探求授業」の参考に資する。
- ②静岡県の歴史・産業・社会に関係する現場を体験することにより、「地方の持続可能な発展のあり方」についての事例を知り、郷土教育の一環としての知識を習得する。

巡検行程：

1. 9：15 島田駅に集合後、チャーターした中型バスに乗り込み出発。
2. 島田市博物館本館・分館川越遺跡見学。
3. 大井川鉄道新金谷車両基地（SL整備）・新金谷駅構内「プラザロコ」見学後、会議室にて広報の山本豊福氏から「地方ローカル線の取り組み」についての話を約1時間伺い、その後質疑応答。
4. 「お茶と農業の体験型フードパーク KADODE OOIGAWA」にて地域特産物や観光情報の発信基地としての状況を見学後、昼食。
5. 大井川中流域「塩郷のつり橋」へ。
途中、県道64号・県道77号車窓より土砂崩れにより通行止めの国道473号を望みつつつり橋に到着、橋を渡って大井川の対岸へ。その後、徒歩で塩郷ダムへ向かい大井川の水利状況を見学。
6. 「ふじのくに茶の都ミュージアム」見学し、牧之原における茶産業の歴史を学ぶ。
7. 最後の蓬莱橋は時間が遅くて渡れず、橋のたもとからの見学。
8. 島田駅にて解散。

総括：

1. バスをチャーターし活用することで大井川周辺の特色ある歴史・産業の現場6カ所を効率よく巡ることができ、それぞれの場所で余裕をもって研修することができた。
2. 台風15号により被害を受けた静岡県内の実情に触れることができた。
3. リニア工事をめぐる水利問題を考える上でも大井川のダムの一つを見学できたことは有意義なものであった。
4. 今回は大井川周辺の地理・歴史・産業資産に関するフィールドワークであったが、各学校の参加者には地元地域のフィールドワークを計画する際の参考になったものと期待している。